

「今は育休中なので、働き始めたら感じ方が変わりそうです。都内に住んでいる友達が多いので、急には集まれないかな。でも、友達がこちらに来てくれるかもしれないね。松戸市の生活には意外と慣れてきました。子どもや犬と一緒にだらかもしれませんが、すぐ話かけていただきます。あとは、スーパーに行くとしじの方がかゴを運んでくれたり、八百屋さんいろいろおすすめてくれたり。サザエさんに出てきそうな八百屋さん」と朋子さんが

言う、「よくたくさん買って帰って来るよね」と翔さんは笑う。「少しずつ行きつけのお店もできて、パンは『ツオップ』さんですね。リトルミントさんでは、いつも愛犬を可愛くトリミングしてもらっています」と朋子さん。

意外と自分の好きなものが近くにあるのかも

翔さんは暮らしの変化について、「通勤時間は長くなったけれど、40分ぐらい

乗り換えなしなので、貴重な自分の時間になっています。スマホゲームをしたり、アニメを見たりしていますけどね(笑)。子どもが生まれたこともあるけど、新宿、下北沢、吉祥寺に行かなくなりました。そこまで行くなら、柏、亀有、北千住でいいかなって。下北沢、吉祥寺では古着をよく買っていたんですが、噂で柏にも古着屋が多いと聞いたので行ってみたら、下北沢での行きつけのお店の系列店がありました。すごく好きだったラーメン屋の『せい家』も、柏にあることがわかって。自分の好きなものが、意外と近くにいっぱいあるぞって思いました。新しい楽しみは、駅前にいくつかあるカーシェアを利用して、流山に子ども服を見に行くことかな。コロナ前は友人家族と『マザー牧場』に遊びに行ったことも。外環を利用して片道2時間ぐらいで行けたので、近いし楽しかったです」

保育園や習いごと

夫婦で子どものことを考えながら

東京暮らしから、まつど暮らしへ。2人暮らしから、3人と1匹の暮らしへ。「こつ暮らしせたらいいな」を少しずつ、叶え始めた鐘ヶ江さん夫妻。最後は、お子さんについて聞いてみると、「今年

保育園に入りたいと思っています。駅前などにいくつか保育園があるの、調べ始めています」と朋子さん。翔さんは、「子ども向けの習いごと教室もたくさんあるみたいなので、楽しみます。時代的には、プログラミングや英語が良さそうですね。2人ともできないので、センスがないかもしれないけれど1度チャレンジさせてあげたいです。大きくなったら楽器を演奏してくれると嬉しいですね。一緒に演奏できる日が来るのかな」



私らしく、のびのびと根を張る。



夫と2人で

気のおけない仲間たちと

「まつど」を起点に

好奇心のままに、あちこちへ。

鶴見 奈央子 (つるみ なおこ)さん

和歌山県生まれ。大学卒業後、都内の証券会社で営業を経験し、現在は都内の会社でディレクターとして活躍中。松戸市生まれ・松戸市育ちの将史さんと結婚。松戸駅近辺に住み、清澄白河駅近辺に移り住み、2017年5月より、松戸市・新松戸で再びまつど暮らしをスタート。

